

# 事務事業評価資料

施策名	兵庫楽農生活センターの運営			所管部局課名	農政環境部農政企画局総合農政課					
事業名	楽農学校事業等			担当者電話番号	楽農生活係 内線3949					
事業目的	生きがいや本格的な農業を目指す人等を対象に農業の知識や技術の習得等を支援									
事業内容	県民が楽農生活を実践できる機会等を提供するため、 (社)兵庫みどり公社が行う楽農学校事業等に対する助成 補助対象者 (社)兵庫みどり公社 補助対象経費 事業経費の10/10以内				事業開始年度	平成16年度				
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額				
	事業費	(20,751 千円) 20,751 千円		(19,917 千円) 19,917 千円		(18,989 千円) 18,989 千円				
	人件費	2,674 千円	従事人員 0.3人	2,541 千円	従事人員 0.3人	2,508 千円	従事人員 0.3人			
	総コスト ( + )	23,425 千円	従事人員 0.3人	22,458 千円	従事人員 0.3人	21,497 千円	従事人員 0.3人			
事業の目標	楽農学校受講者数				[目標設定理由] 団塊の世代の大量退職期を迎え、楽農生活の実践を希望する人を支援する必要があるため					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率(%)			
		目標値	年度				H19	H20	H21	
	楽農学校受講者数	80人 94人 104人	H19 H20 H21	82人 (286 千円)	104人 (216 千円)	104人 (207 千円)	102.5%	110.6%	100.0%	
評価結果	必要性	・本県では、県民が食と農に親しむライフスタイル「楽農生活」を推進している。楽農生活を実践するため、楽農生活センターのフィールドを用いて、就農コース、生きがい農業コースなどによる多様な人材育成や農業体験教室を実施する必要がある。								
	有効性	・平成17～20年度までの就農コース修了生29名のうち、23名が就農するなど、高い就農率(79.3%)となっており、農に関する人材育成として有効である。 ・また、楽農学校受講者数は増加しており、平成20年度は目標を超過する見込みである。								
	効率性	・各コース等の運営にあたっては、就農コースと生きがい農業コースの指導員を一括運用するなど、効率的な運用を図っている。								
	民間・市町との役割分担	・兵庫楽農生活センターでは、食と農に関する各種体験プログラムを民間事業者と役割分担(県：就農コース、生きがい農業コース等実施、民間：レストラン運営等)して運営している。								
	受益と負担の適正化	・受講生からは受講料を徴収しており、受益者は相応の負担をしている。 (生きがい農業コース(半年間) : 30千円/人) (就農コース(1年間) : 120千円/人) (アグリビジネスコース(1年間) : 20千円/人)								
方向性	新規	拡充			継続		実施手法の見直し			
	廃止	縮小		統合		凍結(休止)		延長		終期設定
実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他			
説明	県民が食と農に親しむライフスタイル「楽農生活」を推進するため、兵庫楽農生活センターのフィールドを活用した多様な人材育成、農業体験等を、引き続き実施する。 なお、兵庫楽農生活センターの運営については、新行革プランにおいて、次々期(H24～)の指定管理者の選定時に公募を検討することとしているところである。									